

## ～たとえ話の心理学～

スクールカウンセラー 丸山 真理子



### 「科学的な態度」=世界を理解しようとする態度

1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。スクールカウンセラーの丸山真理子です。御所野小にも出入りしていたので、顔はわかるという人も多いかな？またよろしくお祈りします。

2・3年生のみなさん、去年は講演を聴いてくれてありがとう。今年も気軽に話しに来て下さい！

保護者の皆様、今年度も御所野学区でスクールカウンセラーをさせていただきます。先生方やクラスメイトが毎年変化する学校というシステムの中で「同じ人間」がいるメリットと、学校にいつもいる人ではないという「外部性」を大切にしながら、一味違う考え方や、ちょっと専門的なものの見方をお伝えできるように工夫していきたいと思っておりますので、よろしくお祈りします。

ふだんは秋田赤十字病院の心療センター（心の治療をする所＝精神科）で働いています。私の病院でも医療従事者へのワクチン接種が始まりました。1年前は未知のウイルスにおびえていた人類ですが、文字通り世界中の英知を結集して、ウイルスの正体を突き止め、感染ルートや発症に至るメカニズムを徐々に解明し、ワクチンを開発・製造して、今まさに世界中で接種する段階までできています。まだ治療法は確立されていませんが、対抗する戦略はかなり増えています。

それなのに…差別や偏見は減らず、アジア系への暴力は増えています。自分には関係ない…と思うかもしれませんが、自分だけはコロナに罹りたくないという一心が、感染者を排除する思想に簡単につながってしまうのだ、ということを知ってほしいのです。もし自分や家族が感染したとして、周囲から噂されたり避けられたりしたら、どんな気持ちになるでしょう？敵はウイルスなのに、それと闘っている人を攻撃してしまうのは明らかに間違いです。でも、**見えないものを相手にするのは難しいからと、目に見えるものを敵とみなして攻撃することで、やっつけた気になって、つかの間の安心感を得ようとする**、という初歩的なミスを犯しやすいのです。いじめのメカニズムと同じです。そんなことをしても問題は悪化するだけなのに。バトル系の作品でモブ達が簡単に仲間割れして、殺し合ったり、共食いするシーンを思い出せば、その醜さはわかりますよね。

私たちはあんなに愚かではないはず！目指すは、困難でも投げ出さずに逆境を乗り越える主人公の方です。そのためには与えられた情報や現状を鵜呑みにせず、「本当にそうなのか？」と自分の頭で考える癖をつけること（**クリティカル・シンキング**）が必要。真実を見抜くには、**再現性**（ある事柄について調べる時、方法が同じなら、いつ・どこで・誰がやっても同じ結果）と**因果関係**（原因と結果の関係がきちんとあること）を押さえるのがポイントです。**科学的な態度**とは、今得られている証拠から総合して判断できる「最も有力な説明」を感情抜きに採用できる姿勢であり、「まちがっているかもしれない可能性」を常に考慮して反論を受け入れる謙虚さと、より確かな真実を追究する心です。それは世界を理解しようとする態度そのものと言えるでしょう。